

# LIBERA

経法大の今がわかる

【リベラ】

KEIHO MAGAZINE

Vol. **96**

April 2026



未来を生き抜く学び。



大阪経済法科大学

# たくさんの挑戦や経験から つかみ取った「自分の道」。

入学時から明確な目標を持っていた人もいれば、  
目標を見つけるためにここに来た、という人だっている。  
ただ、全員に共通しているのは、  
本当に進みたい道を見つけ、踏み出すことができた、という事実。  
時には壁に突き当たったり、思い悩んだりもしただろう。  
だからこそ、一人ひとりの声に、しっかり耳を傾けてほしい。  
あなた自身の未来にもつながるヒントが、きっと見つかると思う。

特集1 2025年度卒業生の活躍 | SPECIAL FEATURE 01

# 大化け 何者にでもなってやれを 実現した卒業生。

## 経済学部

卜部 竜輔さん 経済学部卒業 | 大阪府立渋谷高校出身  
花崎 悠斗さん 経済学部卒業 | 大阪府立桜宮高校出身  
PHAN KIM NGOC HANGさん 経済学部卒業 | トラン・フー高校(ベトナム)出身

## 経営学部

野尻 康汰さん 経営学部卒業 | クラーク記念国際高校出身  
浦岡 大和さん 経営学部卒業 | 大阪商業大学高校出身  
西川 帆乃花さん 経営学部卒業 | 和歌山市立和歌山高校出身

## 法学部

奥田 一步さん 法学部卒業 | 高知県立高知追手前高校出身  
西俣 海音さん 法学部卒業 | 奈良県立情報商業高校(現:奈良県立商業高校)出身  
吉田 七海さん 法学部卒業 | 大阪府立松原高校出身

## 国際学部

NGUYEN THI THUY DUONGさん 国際学部卒業 | コクエン高校(ベトナム)出身  
太田 一矢さん 国際学部卒業 | 兵庫県立尼崎西高校出身  
筒井 美月さん 国際学部卒業 | 大阪夕陽丘学園高校出身

大阪経済法科大学学報 [リベラ]

# LIBERA

Volume 96 / 2026

CONTENTS

02 【特集1】  
2025年度卒業生の活躍

## 大化け

何者にでもなってやれを  
実現した卒業生。

09 大阪経済法科大学  
スポーツ憲章

10 【特集2】  
「大化け」するために  
必要なこと

12 躍動するクラブ&サークル

- サッカー部
- 釣り研究部
- e-sportsサークル
- 卓球部
- 2026年度春学期  
体育会クラブ 主要公式戦予定
- 2025年度秋学期  
体育会・文化会クラブ、サークル団体の  
主な活動結果
- 課外活動への参加方法

14 2026年度  
大学事業計画・大学予算

16 【研究室へのいざない】 Vol.6  
穴井 佑准教授

2026年4月1日発行

【編集】 大阪経済法科大学事務局庶務課  
〒581-8511 大阪府八尾市築音寺6丁目10番地  
TEL 072-941-8211 FAX 072-941-4426

<https://www.keiho-u.ac.jp>

## 授業で学んだ経済の知識や分析力と アルバイトで鍛えた実践力が決め手に。

「高校生の時、経済のニュースを見ていて、キャスターが語る内容をほとんど理解できない自分に気づきました。そこから『経済や社会の仕組みについて学ぼう』と考え、経済学部に進学したのです」。

入学後、ト部さんは授業を通して国際経済から地域活性化まで経済に関わるさまざまな課題について学修します。

「専門用語や経済指標を示すグラフなどが少しづつ理解できるようになり、ニュースの見方も変わりました。また、ゼミの仲間と参加した研究発表大会では、フードロスをテーマとした発表で金賞を受賞し、とても嬉しかったです」。

学外では、大学1年生から主力フェチエンでのアルバイトを経験。接客の仕事でしたが、店舗の経営方針や売上管理にも主体的に携わり、業績

向上に大きく貢献しました。また、コーヒーやお菓子の新商品情報の資料が本部から送られてくるたびに「自分もこうした商品の企画に携わってみたい」という気持ちが高まり、それが食品業界を志す動機となったのです。

ネスレ日本のインターンシップに参加したト部さんは「具体的な経営課題に対して、自分なりの解決方法を考え、文書で回答する」といった取り組みのなかで、大学で学んだ経済知識に基づいた市況分析力とアルバイトで養った実践感覚を存分に発揮。そこで得た評価が、採用の決め手となったようです。

「いずれは企画マーケティング部に入り、より良い商品を世の中へとお届けすることが目標。チャンスがあれば海外営業にも挑戦したいです」。



ネスレ日本(株)

ト部 竜輔さん

2026年3月経済学部卒業  
大阪府立渋谷高校出身

## 70社以上のインターンシップを経て、 「本当に進みたい道」へと踏み出せた。

地域経済に関心を抱き、経済学部での学修に励んできた花崎さん。2年生からは学生防犯隊で地域の防犯活動に取り組み、さまざまな交流を通して地域の人々の暮らしや課題について体感から学びました。

「他にもオープンキャンパススタッフや写真部での活動、アルバイトなど、やりたいと思ったことにどんどん挑戦しました。そのなかでさまざまな年代や立場の人たちと関わることでできたのが、自分の成長に繋がったと思います」。

2年次には東大阪市役所でインターンシップにも参加しました。

「最初は公務員志望だったのですが、実際に市役所での仕事を体験してみると『自分がやりたいことは違うかもしれない』と感じました」。

民間企業にも目を向けるよ

うになった花崎さんは、その後、鉄道、飲食、メーカー、商社、銀行など、多様な業界でのインターンシップを体験。その数は70社以上にも及び、結果、花崎さんの元には膨大な企業情報に記載されたメモが今も残っています。

「最終的にハウスメーカーを選んだのは『人と関わる仕事がいい』『単価が高いほうがより責任感を持って取り組めそう』と考えたから。なかでも一条工務店の住宅は性能が非常に優れていてお客様の満足度が高いと感じました」。

精力的にインターンシップに参加してきた花崎さんの行動力への評価も、採用に至った大きな要因です。

「お客様ありきの仕事ですので、最高のサービスで担当顧客数を増やし、どんどん成果を出していきたいです」。



(株)一条工務店

花崎 悠斗さん

2026年3月経済学部卒業  
大阪府立桜宮高校出身

## 日本と母国の文化を伝えるホテルの経営。 その夢の実現に、着実に近づけている。



ヤマダイ食品(株)

PHAN KIM NGOC HANGさん

2026年3月経済学部卒業  
トラン・フー高校(ベトナム)出身

「日本文化が好きで、祖母の影響で、華道や茶道を学びたいと考え、母国・ベトナムの高校を卒業後、来日しました。」

日本の語学学校を経て、京都の短大に入学したハンさんは、念願だった華道と茶道の修得に励みました。そして短大卒業後、さらに大きな夢へと踏み出したのです。

「将来はホテルを経営し、そこに日本文化とベトナム文化を取り入れた空間を作り、日本と母国の魅力を世界の人々に紹介したい。この夢の実現には、経済やビジネスの知識が必要と考えました。」

本学の経済学部に入学生ハンさんは、国際経済を中心に経営学も含めた幅広い学びに取り組めます。

「ゼミの先生には独立起業に向けたアドバイスやおすすめのビジネス書の紹介をして

もらえ、有り難かったです。」

そしてハンさんは、将来の夢に向け、日本でビジネス経験を積みたいと考え、就活に臨みました。特にインターンシップに積極的に取り組み、参加した約15社のなかで最も大きな手応えを得たヤマダイ食品への就職を決めます。

「業務用の冷凍食品メーカーで、ホテルとも取引があるため、将来につながる経験ができると感じました。私は食べるのが好きで、インターンシップでも「ハンバーガーのレタスの代替として冷凍小松菜を使い、生野菜の廃棄ロスを減らす」という提案をし、高く評価してもらえたのは嬉しかったです。社長も私の夢を応援してくれ、海外出張への同行などさまざまな経験の機会を約束してくれています。これからが、本当に楽しみです。」

## 先生の助言から目標変更を決断し、 IT分野の難関国家試験に合格。



日本電子計算(株)

野尻 康汰さん

2026年3月経営学部卒業  
クラーク記念国際高校出身

「当初は公認会計士をめざしていましたが、道のりは想像以上に厳しく、2年生の時、「このままでは中途半端に終わってしまう」と悩み、ゼミの引地先生に相談しました。」

入学時から野尻さんを見守ってきた引地教授のアドバイスは「IT分野が向いているのでは」というものでした。

「ゼミの先輩でも会計からIT系に進んだ人がいると聞き、まずITパスポートの勉強を始めました。会計の勉強で失敗した原因に自分の行動の遅さがあったので、とにかく「すぐに動こう」と。」

ITパスポート試験に合格した野尻さんは、次に基本情報技術者試験に挑みます。

「知識は資格講座で修得できましたが、プログラミングは苦戦続きでも試験直前に津田先生が個別に集中指導し

てくれ、視界が開けました。」

2年生の2月に基本情報技術者試験に合格した野尻さんですが、続いて挑戦した翌春の応用情報技術者試験では不合格に。大きな失意から再び奮い立つ力をくれたのは、引地ゼミの仲間たちでした。

「みんなも公認会計士や税理士をめざして頑張っている。ここで自分だけ挫折するわけにはいきませんからね。」

学修方法の工夫や改善を図りつつ猛勉強を重ねた野尻さんは、3年生の10月に受けた2度目の応用情報技術者試験で見事合格。この資格を強みに就活に取り組み、日本電子計算からの内定を得ます。

「金融系のシステムに強い企業ですし、ゼミで学んできた会計の知識も生かしつつ、システムエンジニアとして専門性を高めていきたいです。」

## 「リーダーシップ」や「組織」を学んだことで ユニクロの優れた教育に着目できた。

入学当初はあまり勉強熱心ではなかったという浦岡さん。転機となったのは、2年次のゼミでの学びでした。

「リーダーシップについて論文や具体例を通して学ぶゼミで、自分自身が高校時代にサッカー部のキャプテンを務めた経験と結びつく部分が多く、興味深かったです」。

組織や人の繋がりに関心を高めた浦岡さんは、3年次からは人的資源管理について学ぶゼミに所属。労働環境と生産性など、データに基づく議論から「会社」や「仕事」への考えを深めていきます。

「経営学部研究発表大会にも参加し、2年連続特別賞を受賞しました。チームリーダーとしてゼミでの学びを実践に結びつけてグループワークに取り組んだ経験は、自身の成長に繋がったと感じます」。

こうした学びを生かして人材業界を主軸とした就活に取組んだ浦岡さんでしたが、ある日、買い物で訪れた「ユニクロ」で、質の高い接客サービスに感銘を受けました。

「とても忙しそうだったのに、商品を探している私に気づき、すぐ対応してくれた。そんなスタッフを育てる会社ってすごい、と驚きました」。

浦岡さんはユニクロの持株会社であるファーストリテイリングの企業情報をさらに掘り下げて調べ、その優れた人材育成体制について改めて認識し、入社を志望しました。

「選考では、大学で養ったリーダーシップを評価してもらえたと思います。入社後はまず店舗での業務で経験を重ねて周囲の信頼を得て、将来的には本部で人材育成に携わることが目標です」。



(株)ファーストリテイリング

浦岡 大和さん

2026年3月経営学部卒業  
大阪商業大学高校出身

## 挫折から立ち直り、改めて気づいた。 「自分の強み」を手にしていくことに。

公認会計士を志し、経営学部に入學した西川さん。1年次には、日商簿記検定2級合格を果たします。

「でも2年生の春に、会計士をめざすプログラムの選抜試験に合格できず、ゼミの引地先生と話して目標を就職に切り替える決心をしました。とは言え、特に興味がある業界もなく、しばらくは「どうしよう」と迷うばかりでした。そんな西川さんが活路を見出すきっかけとなったのは、2年生の夏に参加した就活支援プログラムでした。

「グループディスカッションに取り組むプログラムのなかで、先生からアドバイスをいただいたんです。『引地ゼミで会計や企業の財務分析を学んでいるのなら、銀行への就職をめざしてみれば?』と」。

そこから「やってみよう」と

奮い立ち、以後は「銀行論などの授業を履修しつつ、西川さんは銀行を基軸とした就活を進めていきます。

「インターシップの課題で会計の知識が役立つたり、自分が思う以上に簿記2級資格が高く評価されたりと、就活中に『これまでの頑張りの成果が、銀行をめざす自分にとっての強みになる』と実感でき、自信が持てました。何よりゼミで会計士をめざすみんなが、私の進路変更後も「同じ仲間」として、勉強でわからない所を熱心に教えてくれる本場に有り難かったです」。

そして3年生の3月、西川さんは第一志望の紀陽銀行から内定通知を受けたのです。

「希望しているのは法人営業。財務会計の知識を生かし、さらに上をめざして成長し続けたいと思います」。



(株)紀陽銀行

西川 帆乃花さん

2026年3月経営学部卒業  
和歌山市立和歌山高校出身

## 法律事務所でのインターンシップで 憧れから「本気」へとギアチェンジ。

なんとなく弁護士という職業に憧れを抱き、法学部に入學した奥田さん。そんな漠然とした意識に変化をもたらしたのが、1年生の時に体験した、山口法律会計事務所でのインターンシップでした。

「傷害致死事件の刑事裁判を傍聴させてもらった際に、被告人に親身に寄り添う弁護士の姿が印象的でした。最初は『なぜ悪いことをした人に寄り添うのか?』と疑問を感じましたが、『先入観で善悪を決めつけず、真実のみを追究するのが法曹の仕事』といったお話を聞いて感銘を受け、そこから本気で弁護士をめざそうと決意したのです。」

以降、奥田さんは1年次から受講していたSコースや、2年次からスタートした法曹特別演習、さらに『GDL法律サークル』での勉強会などを通して、法科大学院進学と司法試験に向けた本格的な学修に打ち込みました。

「3年生の夏には、サークル活動の一環として他大学との合同判例研究発表大会に参加しました。この時『自分が発表する』ということをふまえて判例の持つ意義や問題点について深く掘り下げて追究した経験が、転機になったと感じます。判例の本当の見方がわかり、以後、答案の質が激変していききましたから。」

そして4年生の夏に、第一志望の早稲田大学法科大学院に合格。でも奥田さんの目は、すでにその先にある司法試験と向けられています。

「将来は、困難な立場にある人の権利を守り、救いの手を差し伸べられる弁護士になりたい。法科大学院でも、今までの以上に勉強に励みます!」。



早稲田大学 法科大学院

奥田 一歩さん

2026年3月法学部卒業  
高知県立高知追手前高校出身

## 野球というチームスポーツのなかで 「誰かのために頑張れる自分」を実感。

西俣さんは小学生の時から打ち込んできた野球を通して自らの適性を把握しました。

「どんなに苦しい練習も自分のためではなく、信頼できる先輩やチームのためと思えば頑張れる。高校の野球部でそう気づいて、だったら将来は人のために尽くす仕事に、と考へ、消防官を志しました。」

本学入学後は1年次からSコースを受講し、公務員試験に向けた準備を着実に進めました。また大学でも硬式野球部に入部し、練習に励みます。

「高校の時よりレベルが高く、厳しい環境で、それでも引退までにレギュラーになる」という気持ちで頑張りました。結果、3年生の春にはレギュラーになり、副主将にも選ばれました。また、部活では同じ消防官をめざす先輩たちとも出会え、勉強方法などのアド

バイスももらえたのが有り難かったです。」

めざす道の少し前を歩く頼もしい先輩たちの背を見つめつつ、西俣さんは自らの目標を東京消防庁と定めます。

「規模も設備も日本一の組織で挑戦したい」と考えてのことです。絶対に合格しなくては、3年生の秋に部活を引退してからは毎日10時間ほど図書館で勉強しました。」

面接試験では硬式野球部で鍛えた忍耐力や副主将としてチームのために尽くした経験をアピール。そうした大学での4年間の全てが美り、東京消防庁に合格します。

「どれほど危険な災害現場でも、誰かのために頑張れる存在が必要。だから自分が」と救助隊を志望し、将来的にはハイパーレスキューでの活躍を目標としています。」



東京消防庁

西俣 海音さん

2026年3月法学部卒業  
奈良県立奈良情報商業高校出身  
(現:奈良県立商業高校)

## 3度目の挑戦で、ついに手にした宅建資格。 地道な積み重ねが、自信と力になった。



大阪信用金庫

吉田 七海さん

2026年3月法学部卒業  
大阪府立松原高校出身

「将来どんな仕事に就きたいか、何もわからない状態で入学した吉田さん。そこでまず「資格取得」を大学での自分の軸にしようと考えました。いろいろな資格を取るより、何か一つ、しっかりと自分の強みになる国家資格を取りたいと考え、宅建（宅地建物取引士）に挑戦しようと決めました。難しいとは聞いていましたが、4年間頑張れば取れるかな、と思つて」。

1年生の5月から宅建の資格講座を受講し、10月に初めての資格試験に挑んだ吉田さんでしたが、この時はまったく点数が足りず、不合格に。ただ、もちろんそこで諦めることなく、吉田さんは翌年も同じ資格講座を受講します。

「2年目は、1年目によくわからなかった部分だけを講座で学んで、理解できている

部分の講座は受けず、その時間を図書館での自習に充てました。最初は難しく感じましたが、勉強を積み重ね、模試での正解が増えていくと、自分の理解が進んでいる実感が得られ、嬉しかったです」。

2年目の試験は「あと少し」の不合格。しかし3年目には「余裕を持って」の合格を果たします。

「本当に積み重ねの結果なんだなと、心から感じます」。

宅建資格は就活での大きな強みとなり、吉田さんは金融・不動産など数社から内定を獲得。そこから大阪信用金庫への就職を決めました。

「地域のお客様に長く寄り添って働けることに魅力を感じました。資格を生かしながらいろいろな仕事を経験し、自分に合ったキャリアを築いていきたいと思えます」。

## ビジネスを通じて世界の架け橋となり、 差別や偏見のない多文化共生社会へ。



(株)アール・ケイ

NGUYEN THI THUY DUONGさん

2026年3月国際学部卒業  
ゴクエン高校（ベトナム）出身

「母国・ベトナムを離れ、日本で学ぼうと決めたのは、母の勧めもあつたことです。実際にこの大学に入学して驚いたのは、教育の質の高さ。『努力すれば正當に評価される環境が日本にはある』と感じ、すぐに『卒業後は日本の企業に就職したい』と考えるようになりました」。

特に語学に力を注いだズオンさんは、日本語能力試験では最高レベルのN1を取得。TOEIC<sup>®</sup>スコアは本学入学時点でも700に達していました。さらに本学の授業で実力を伸ばし、スコアを810までアップさせます。

「アメリカ文化の授業も印象的で、人種差別問題が今も根強く残っていると知ったのはショックでした」。

国際学部研究発表大会では2〜3年次に人種差別を

テーマとした発表を行い、2年連続で最優秀賞を受賞します。

「普段の授業でも発表や自分の考えを発言する機会が多く、そのなかで主体性が養えたと思います。友人もたくさんでき、日本、中国、ネパールなどさまざまな国の学生と楽しい毎日をご過ごしました」。

就活ではグローバルビジネスを志望。そして、ベトナムやミャンマーに鉄鋼を輸出している商社アール・ケイと出会いました。「社員の多くが高い英語力を有していて、私もベトナム語・日本語英語の3カ国語が話せる点を評価していただけだと思えます。将来は営業として、ベトナムでの新規取引先開拓に挑戦したい。そしてビジネスを通して、日本とベトナムと世界との架け橋になれば、嬉しいですね」。

## 小説家という夢に繋げる意味でも 理想的な体験が望める就職ができた。

純文学を愛読し、自らも小説を書いている太田さん。洋楽への関心も高く、そこから英語を深く学びたいと考え、国際学部に入學しました。

「人とのふれあいが好きなので、少人数でのグループワークが多い本学の授業はとても楽しいです。また、ゼミでの学びを通して海外文学への興味が広がりました。」

太田さんは国際学部研究発表大会に毎年参加。主に文学をテーマとした発表を行い、3年次と4年次には優秀賞を受賞しました。

「研究発表大会では、前年の反省をふまえ、どんな質問を受けても答えられるよう早期からの準備に努めたり、専門分野の異なる先生にも相談して多様な視点からの意見を参考にしたりと、4年間を通して確実にステップアップで



クラブツーリズム(株)

太田 一矢さん  
2026年3月国際学部卒業  
兵庫県立尼崎西高校出身

きたのが良かったです。」

学修面では充実した日々を過ごした太田さんですが、就活には少し消極的でした。

「小説家になることが一番の目標。でも一度は就職を経験しておこうと考えを改め、「文学に生かせる仕事」という観点から旅行業界を志望しました。美しい景色を文章にするのが好きなんです。」

以後は精力的に説明会やインターンシップに参加し、その結果、最終的に選んだ会社がクラブツーリズムでした。

「型にはまらないユニークさが感じられる企業。個性豊かなツアーのなかで、さまざまな趣味や考え方を持ってお客様とのふれあいを通じて成長できると思います。それを創作活動に結びつけ、文学賞につながるような作品を生み出すことができれば、最高です。」

## ふとしたきっかけで挑戦した資格試験。 めざしたい世界が、そこから広がった。



KNT-CTホールディングス(株)

筒井 美月さん  
2026年3月国際学部卒業  
大阪夕陽丘学園高校出身

海外の文化に興味があり、国際学部に入學した筒井さん。1年次から留学生とのグループワークやキャンパスライフを通して、国際感覚を体感的に育てました。

「英語の勉強ではスピーキングもリスニングもひたすら回数を重ねて力をつけました。2年次には韓国の崇実大学校に1カ月間留学し、欧州やアジアなどさまざまな国の学生と英語を学び、楽しかったです。大学入学時のTOEIC®スコアは470でしたが、最高で800くらいまで伸び、自信になりました。」

そして韓国から帰国後、ゼミの先生の勧めで国内旅程管理主任者の資格を取得したことが、筒井さんにとっての転機となります。

「資格講座を受けてすぐ合格できたので、次は国家資格

の旅行業務取扱管理者に挑戦することに。でも3年生の5月からこの資格の講座を受け始めると、学ぶ量の多さに驚き、かなり困惑しました。」

それでも懸命に学修に励んだ筒井さんは、9月に国内、10月に総合、2種類の試験に続けて合格。この資格を武器に、就活をスタートします。

「最初から旅行業界志望ではなかったのですが、資格をきっかけに参加したインターンシップで旅行企画などの仕事を楽しく感じ、自分に向いていると気づきました。」

KNT-CTホールディングスを志望したのは、現場から経営まで、幅広い仕事に関わるチャンスがあるから。

「一番の希望は訪日事業。ゼミで学んだ国際政治の知識も生かし、世界と日本のより良い交流に貢献したいです。」

# 大阪経済法科大学スポーツ憲章

私たちは、スポーツを「心と体を鍛える場」であるとともに、自らの可能性を広げ、未来を切り拓くための実践の中から真理を探求する「学びの場」であると捉えます。スポーツがもたらす価値は、勝利を目指す挑戦の中で心身を鍛え、確固たる自己の軸を確立する営みと、勝敗を超えた楽しみや交流によって自己を深める営みの両面にわたります。

日々の鍛錬と仲間との協働は、たくましい精神力、目標に向かう実行力、逆境へのしなやかな対応力を養います。仲間と支え合い、互いに高め合う中で、自分自身の壁を乗り越えていく経験が、自己肯定感を高め、誇りと自信を培います。

この信念のもと、スポーツの実践を通して、一人ひとりが全人的な成長を遂げ、社会に貢献できる人材となることを目指します。

- 1** 創立者・金澤尚淑博士の座右の銘「汝在るところ全力を尽くせ」の精神を受け継ぎ、スポーツに対する情熱を原動力に、ひたむきに努力を積み重ねます。自らの限界に果敢に挑みながら、競技力の向上と人間力の涵養を追求します。
- 2** 品位と礼節を尊び、スポーツマンシップとフェアプレーの精神に則って真摯に競技に臨みます。この精神に基づき、共に活動する仲間、指導者、対戦相手、審判をはじめ、スポーツに関わるすべての人々を尊重します。
- 3** 強い結束と連帯感をもとにして、仲間と喜びや悔しさ、感動を分かち合い、豊かな人間関係を築きます。他者への思いやりや誠実さを大切に、互いに切磋琢磨する過程そのものに充実感と意義を見だし、それを自己の飛躍へとつなげます。
- 4** スポーツの価値を損なうあらゆる差別、暴力、ハラスメント、いじめなどを決して許容せず、その根絶に努めます。また、スポーツにおける規律を重んじ、法令及び大学の諸規程を遵守して行動し、安全で健全なスポーツ環境の構築に尽力します。
- 5** 出身国・地域、言語、宗教などの違いを超えて共に励むスポーツそれ自体を国際共修の機会とします。目標の達成に向けて、多様性を認め合い、理解を深めながら、さまざまな文化的及び社会的背景を持つ人々と協働する姿勢を育みます。
- 6** スポーツ活動と学業の両立で体得した主体性、自律性、責任感、そして協働する力を、将来の社会生活やキャリアに活かします。そこで得た経験や知見を次世代へと引き継ぐとともに、スポーツがもたらす多様な価値を広く社会に伝え、スポーツ文化のさらなる発展に寄与します。

2025年12月15日制定

外国語版も公開中

大阪経済法科大学スポーツ憲章は英・中・韓の3カ国語対応。  
右記リンク先に3カ国語分まとめて掲載。留学生ほか外国の方にもお読みいただけます!

閲覧はこちらから





## 成功への道は 目の前にある。

米山秀隆教授「経済学部長」

大化けを目指すと言っても、何も特別なことは必要ありません。経済学部のカリキュラムで、一年次の経済学基礎からスタートし、三年次の上級ミクロ経済学・上級マクロ経済学まで学修すれば、大学で学べる経済学の最高レベルに到達できます。それは国家・地方公務員の経済学の専門試験を楽々解けるレベル、経済学系難関大学院に合格できるレベルです。この二つは、経済学を学ぶことが進路に直結します。

一方、経済学を学ぶ過程では、論理的な思考能力が鍛えられます。また本学では、一年次から経済学に深く関わる資格を取得し、併せて経済ニュース、経済データの読み解き方も学んでいきます。その意味で経済学部での学びは、将来役に立つビジネスの基礎力を養うことにもつながります。結果として多くの先輩たちが、各業界のリーディング企業に就職を果たしています。

目の前にある正課の学びの積み重ねこそが成功への基本であり、歩むべき王道と言えるでしょう。

### SPECIAL FEATURE 02

「これから何者にでもなれるあなたに伝えたい」

# 「大化け」するために 必要なこと

## 学部長&教務部長からの メッセージ

「まだ自分の可能性に確信を持ってない」というあなたに、これまでに多くの学生の「大化け」を支え、見届けてきた先生方が、その体験と実感に基づいた心強いアドバイスをお贈りします。

## 知識と技能で、

## 理想のキャリアを。

中川隆広教授「経営学部長」



多くの日本企業は、AIなどのデジタル技術を活用した経営改革(DX)を進めています。DXを進める上で必要な人材は「知識」と「技能」を併せ持つ人だと言われています。

知識は、マーケティングや経理・財務、人事、ITなど皆さんが学んでいる「専攻」です。技能は学んだ知識を使いこなす能力で、その能力を証明するものが「資格」となります。企業の採用面接で専攻と資格が重要視されるのは、これが理由です。

経営学部では知識と技能の両方を基礎から高度なレベルまで身につけることができます。皆さんは日常の勉強を積み重ねる中で、着実に高いレベルに達していることを実感されていると思います。継続は力なりという言葉があります。まさにそれです。

皆さんそれぞれが目標を設定して学修に取り組めば必ず達成することができます。企業がジョブ採用へシフトしている中で知識と技能の修得はとても有効です。間違いなく希望進路を実現することができます。自信を持って取り組みましょう。



法学の力で、  
社会を動かす。

金亮完教授「法学部長」

法学部と聞くと、法律の条文を丸暗記する学部と思いませんか？ それは誤解です。法律は、社会を成り立たせている、いわば社会のOS（基本ソフト）のようなものです。法律を学ぶことで、社会がどのように動いているのかを理解し、その中で起きているさまざまな問題に気づき、どうすればよいかを考え、解決へと導く力を身につけることができます。

この力は、あらゆる職業、あらゆる時代に通用する「生きる力」であり、社会を動かす力でもあります。

そのために、法学部では、皆さんの将来の目標に応じて、「法曹・法律専門職コース」、「公務員コース」、「ビジネス法コース」の3コースを用意しています。どのコースでも、社会をより良くするにはどうすればよいかを実践的に学ぶことができます。

法学部生の多くは在学中に将来のための資格を複数取得し、卒業後は多様な進路に進んで活躍しています。私たちと一緒に、法学の力で、社会を動かしましょう。



世界を知り、  
自分らしく羽ばたけ。

前鶴政和教授「国際学部長」

国際学部では、「国際社会の多様性を尊重しつつ、異文化理解と多文化共生の精神を育み、豊かな国際感覚と自己のアイデンティティをもつて行動する力を身につける」という教育目的を掲げています。

皆さんがこれから生きていく現代社会では、多様な背景を持つ人々と共に生きていくことが求められます。皆さんは、留学・海外体験や正課授業・資格講座等を通じて、各国・地域で生きる人々の声に触れ、英語・韓国語・中国語や日本語等の外国語運用能力と、各国・地域に関する理解、そして専門分野の知識を通じて、異文化理解・多文化共生の精神を育み、知識の面でも人格的にも成長することが期待できます。そして、そのことが将来の志望進路の実現にもつながることになります。そのためにも、怖気づくことなく、複数回複数国への留学・海外体験や資格取得に果敢にチャレンジすることが必要です。

皆さんが国際学部の教育を通じて「大化け」し、さまざまな分野で活躍できるようになることを、心から祈っています。



自分を信じ、  
最高の「大化け」を。

引地夏奈子教授「理事・教務部長」

皆さんの可能性は、決して数字や肩書きだけで語り尽くせるものではありません。周囲の評価や過去の結果が、そのまま未来を決めるわけではないのです。

本学には、基礎を愚直に積み上げ、自らと正面から向き合い、逃げることなく挑戦を続ける中で自分の殻を破り、周囲を驚かせるほどの成長を遂げ、「大化け」を果たしてきた学生が数多くいます。

専門分野の学修はもちろん、資格試験への挑戦、海外留学、課外活動など、その一つひとつの努力を積み重ねてきた学生たちは、やがて確かな実力と揺るぎない自信を身につけ、自らの想像を超える成果を実現してきました。

大切なのは、今の自分に限界を設けないことです。四年間を「なんとなく過ぎていく時間」にするのか、それとも「人生が動き出した時間」にするのか。その選択は、皆さん一人ひとりの覚悟にかかっています。

次に大化けするのは、あなたです。その瞬間に立ち会えることを、私は心から楽しみにしています。

# CLUB AND CIRCLE ACTIVITIES

# 躍動する クラブ&サークル

「課外活動を通じて、成長・挑戦し続ける学生たちを応援します！」



## 〔体育会〕 サッカー部

**副主将 中原宗仁**  
経済学部2年

サッカー部は、現在27名の部員が在籍しています。2026年度から関西学生サッカーリーグに再び参戦することになりました。皆様のご協力をいただき、ここまでくることができました。4部優勝・3部昇格を目指して頑張りますので、応援よろしくをお願いします！



## 〔文化会〕 釣り研究部

**部長 中塚宏太**  
法学部4年

釣り研究部では楽しく和気あいあいと活動しています。2026年度から、近畿圏中心の他大学との交流、そして活動日数を月2回に増やします！釣り場でのマナー・ゴミ問題も考えていこうと思っています。



## 〔サークル〕 e-sportsサークル

**会長 井上玲唯**  
国際学部4年

普段は花岡キャンパス文化会館301で楽しくゲームをしています！昨年の経法祭ではe-sports大会をしました！子供から大人まで大興奮の楽しい大会でした！ぜひ一緒にゲームをして学生生活を充実させませんか。共に盛り上げてくれる人待っています！



## 〔体育会〕 卓球部

**中村陽希**  
経済学部2年

卓球部です！現在関西学生卓球リーグ2部に所属しており昨秋1部から降格したため、春リーグで1部昇格、秋リーグで1部3位以上を目標に頑張っています！そのための行動目標として「応援されるような選手」を目指し日々の練習に励んでいます！



## 2026年度春学期(4月~9月) | 体育会クラブ 主要公式戦予定

団体名	開催時期	大会名
硬式野球部	4-5月	阪神大学野球秋季リーグ戦 2部東リーグ
軟式野球部	4-5月	西都大学軟式野球秋季リーグ戦 1部
サッカー部	4-12月	関西学生サッカーリーグ戦 4部
ラグビー部	9月~	関西大学ラグビーリーグ戦 C2リーグ戦
卓球部	4-5月	関西学生卓球秋季リーグ戦 2部
男子バレーボール部	4-5月	関西大学バレーボール秋季リーグ戦 4部
女子バレーボール部	4-5月	関西大学バレーボール秋季リーグ戦 6部

団体名	開催時期	大会名
バスケットボール部	9月~	関西学生バスケットボールリーグ戦 4部
バドミントン部	4-6月	関西学生バドミントン秋季リーグ戦 4部
テコンドー部	9月	全日本学生テコンドー選手権大会
空手道部	4月	全日本学生空手道選手権大会
剣道部	5月	関西学生剣道選手権大会 関西女子学生剣道選手権大会
柔道部	5月	関西学生柔道優勝大会
アーチェリー部	9月	グリーンカップ

## 2025年度秋学期(10月~3月) | 体育会・文化会クラブ、サークル団体の主な活動結果

### (体育会クラブ)

団体名	大会・行事名	主な戦績等
硬式野球部	阪神大学野球秋季リーグ戦 2部東リーグ	6位
軟式野球部	西都大学軟式野球秋季リーグ戦 2部	1位(1部昇格)
サッカー部	社会人サッカーリーグ戦 3部	5位
ラグビー部	関西大学ラグビーリーグ戦 C2リーグ	1位
卓球部	関西学生卓球秋季リーグ戦 1部	8位
男子バレーボール部	関西大学バレーボール秋季リーグ戦 4部	4位
女子バレーボール部	関西大学バレーボール秋季リーグ戦 6部	8位
バスケットボール部	関西学生バスケットボールリーグ戦 4部	3位
バドミントン部	関西学生バドミントン秋季リーグ戦 5部Aブロック	1位(4部昇格)
テコンドー部	全日本テコンドー選手権大会	優勝
空手道部	全日本学生空手道選手権大会	出場
剣道部	関西学生剣道選手権大会 関西女子学生剣道選手権大会	出場
アーチェリー部	関西学生アーチェリー新人戦	出場
柔道部	関西学生柔道体重別選手権大会	出場

### (文化会クラブ)

団体名	主な活動結果
ストリートダンス部	八尾わいわいフェスタ ダンスパフォーマンス 第54回経法祭ステージイベント ダンスパフォーマンス
音楽研究会	第54回経法祭ステージイベント K-4LIVE
フォークソング部	第54回経法祭ステージイベント K-4LIVE
軽音楽部	第54回経法祭ステージイベント K-4LIVE
吹奏楽部	八尾市吹奏楽フェスティバル オープニングアクト 第54回経法祭ステージイベント
釣り研究部	釣り行会(浜坂漁港、大阪湾、戸屋浜、船釣、淡路島等)
GDL法律サークル	東京合宿(法務省・防衛省・東京地裁・国会図書館・ 早稲田大学大学院見学)
先生の寺子屋	京都府裁判所・京都府庁見学、人と防災センター体験・見学

## 課外活動への参加方法 [ コントクトの方法や活動時間などの紹介 ]

### 体育会・文化会クラブ、サークル団体への入部・入会方法

体育会・文化会クラブに入部するには、事前に各団体の入部説明会や練習会等に参加・見学するなど、各団体の活動内容を十分に確認してください。各団体への入部の意思を固めたら、入部を希望する団体の責任者(教職員や学生代表者)に入部届を提出してください。また、興味・関心のあるサークル団体に入会の意思を伝えると入会することができます。各団体への入部・入会方法、連絡の方法や各団体の活動内容などについては、学生課窓口で随時相談を受け付けています。

※大学における課外活動は、あくまで学生の自主性に委ねられています。したがって、クラブ・サークルへの入退部については、個人の意思によって決められるもので、その意思は尊重されます。

### 新規サークル団体の結成方法

新規サークル団体を結成するためには、顧問1名(教職員)、会員5名(学生)以上が必要になります。顧問、会員を集めることができれば、サークルの活動目的や活動方針を決定し、『団体結成願』などの必要書類を学生課に提出しましょう。学生課での審査を経て、新規サークル団体の結成が許可されれば、学内の施設等を利用して活動することができます。また、サークル活動でさまざまな活動実績を残すことができれば、体育会・文化会クラブに昇格することができます。

# 大学事業計画・大学予算

2026年度大学予算及び事業計画が3月に開催された理事会において承認可決されましたので、その概要を公表致します。

## 1 学生募集

- 高大連携校120校を目標とし、高大連携事業を全学的に促進します。
- TVCMをはじめとした大規模プロモーションを3年連続で継続し、WEB・SNS広報と合わせて、本学の知名度認知度の向上を図ります。
- 国内外で留学生募集活動を展開し、留学生志願者の確保、受入国・地域の多様化を図ります。
- 2027年度向け、収容定員の変更を検討します。

## 2 各学部及び大学院研究科における教育の充実

- 卒業論文・資格取得・進路実現に向けた教育の充実を図ります。
- 経済学部は、「実学としての経済学」教育を展開し、コースの実質化を図るとともに、多様化する学修ニーズに応えるためのコース制改編に向けた計画・準備を進めます。
- 経営学部は、ビジネスDXコースの専門科目を本格稼働させ、AI・DXを組み合わせた「最先端の経営学部」へと発展させます。公認会計士や税理士等の専門職育成や未来のビジネスリーダー育成を強化します。
- 法学部は、「社会を動かす法学を学

ぶ実学法学部」を目指し、法律・法務専門職コース、公務員コース、ビジネス法コースにおける教学実績の更なる向上を図るため、教育改革を進めます。

- 国際学部は多文化社会へのニーズに対応する新コース制(国際文化コース、英語コミュニケーションコース、国際社会コース)を開始するとともに、英語教育、留学プログラムの強化を図ります。
- 留学生の専門学修や進路実現の基盤となる日本語能力の向上に向け、カリキュラムや教授法の改善を図り、日本語能力試験の実績を向上させます。
- FD(授業内容・方法の向上に向けた教員の組織的取組み)を通じて、教員の教授法を磨き授業改善を進めます。

- 法科大学院進学及び公認会計士など難関試験に向け、正課授業とSコース(難関試験を目指す課外講座)等との連携を進めます。
- 情報教育の充実により、情報活用能力を向上させ、情報系国際資格の合格実績を向上させます。

## 3 就業力の育成・キャリア支援

- 就職活動の早期化等雇用情勢に対応し、学生一人ひとりに対する個別支援を強化して、学生の希望進路の実現、就職満足度の向上を図ります。
- 学部の特性を踏まえた就職実績の向上に向け、就活支援を強化します。
- 国際人材キャリア支援室を開設し、

留学生の希望進路の実現に向けた支援体制を構築します。

- 公務員合格の拡大に向け、正課内外における教員及び公務就職支援室による指導を充実させます。

## 4 国際教育・交流

- グローバル人材の育成に向け、留学派遣学生数220名以上を必達目標として、短期派遣プログラムに加え、中長期派遣プログラムを拡充させます。
- 国際共修に関する基本方針に基づき、一般学生と留学生による言語サークルでの共修など多様な活動を展開します。

## 5 学生生活の支援と課外活動の活性化

- スポーツ憲章の理念に基づく課外活動の展開を進めるとともに、課外活動参加率の向上と競技成績の向上を図り、課外活動の活性化を支援します。
- 「いじめ・差別・暴力」を許さない取り組みを推進し、学生が安全安心なキャンパスライフを実現できるよう支援します。

- 修学支援制度をはじめとする各種奨学金制度の活用等、学生への経済的支援の充実を図ります。

## 6 大学の情報化

- 学術情報センターのもと、図書等学術情報と情報システム等情報基盤の

整備を行い、学修及び教育研究の情報化とDXの推進を図ります。

- 最新のIT機器を備えたDX TARS(花岡キャンパス図書館1階)やDXフロア(八尾駅キャンパス5階)等の空間の活用、ICT教育の改善・充実を推進します。

## 7 施設設備の整備・利用

- 両キャンパスの機能や価値を付加・向上させるリノベーションを計画し、実施します。花岡キャンパスランドスケープ改修を実施します。

## 8 地域連携・社会協働

- 関西経済連合会等各種団体や、企業との関係を構築します。SMB Cグループによる金融特別講義、経営学部での産学連携授業等を展開します。
- 八尾市との連携を強化し、地域の防災力向上等の取組みを進めます。

## 9 研究活動

- 建学の理念に基づく大学の国際化に貢献し、グローバルな多文化キャンパスの実現に資する教員を育成するため専任教員を海外の大学または研究機関へ派遣します。
- 科学研究費補助金等競争的資金の獲得増に取り組みます。
- 研究交流会を定期開催し、論文公刊等による研究成果の発信を進めます。

# 2026年度 大学予算書

2026年4月1日から2027年3月31日まで

(単位:千円)

収入の部	
科目	金額
学生生徒等納付金収入	4,202,134
授業料収入	3,933,644
入学金収入	261,750
その他納付金収入	6,740
手数料収入	21,075
入学検定料収入	19,000
試験料収入	75
証明手数料収入	2,000
補助金収入	659,020
大学整備充実資金運用収入	20,770
雑収入	8,500
収入の部合計	4,911,499
当年度収入超過額	69,573

支出の部	
科目	金額
人件費支出	1,958,562
教員人件費支出	1,136,653
職員人件費支出	770,204
退職給与引当特定資産繰入支出額	51,705
教育研究経費支出	1,910,626
奨学費支出	997,496
報酬委託手数料支出	418,367
その他教育研究経費支出	494,763
管理経費支出	503,528
広報費支出	176,642
報酬委託手数料支出	138,195
その他管理経費支出	188,691
建物等減価償却引当特定資産繰入支出額	324,859
建物等修繕引当特定資産繰入支出額	100,000
その他の支出	44,351
支出の部合計	4,841,926

※この2026年度大学予算は、本学が予算管理目的のために設定している「大学の予算」の収支を勘定科目別に表示したものです。

## 収入について

2026年度の収入の概要は、以下のとおりです。

(金額は全て概算額です。)

### 1「学生生徒等納付金収入」

42億円

新入生、在学生から納めていただく入学金、授業料等の学費です。本学における、主要な財源となっています。

### 2「手数料収入」

2千万円

入試の検定料等の収入です。

### 3「補助金収入」

6億5千万円

私立大学等経常費補助金と修学支援法による授業料減免費交付金であり、2025年度交付額を基準として計上しています。

## 支出について

2026年度の支出の概要は、以下のとおりです。

### 1「人件費支出」

19億5千万円

専任教職員や非常勤講師、嘱託職員・契約職員等に支払われ

る給与、手当及び退職給与引当特定資産繰入支出額などです。

### 2「教育研究経費支出」

19億1千万円

教育、研究に直接要する経費であり、前項の事業計画に沿って編成しています。

### 3「管理経費支出」

5億円

教育研究活動を支える大学管理運営上の経費や、学生募集経費などです。

### 4「建物等減価償却引当特定資産繰入支出額」

3億2千万円

建物及び構築物の減価償却分を積み立て、建物等の建て替えや施設等の充実に活用する特定資産です。

### 5「建物等修繕引当特定資産繰入支出額」

1億円

長期修繕計画に基づき、修繕費を積み立てている特定資産です。

### 6「その他の支出」

4千万円

教育研究用の機器備品・図書などの購入費です。

# 研究室への いざない

Welcome to  
the Research Room

Vol.6



研究室の扉を  
開いてみよう

「近世イングランドの社会と宗教」をテーマに、イギリス社会史の研究に取り組んでこられた穴井准教授。その研究内容とともに、本学の国際教育交流センターで部長代理として携わられている、国際共修の推進についても、お話をうかがいました。

## 異文化間の対立への 疑念が研究の発端に

私の研究活動の出発点は、大学に入学した頃に、9・11同時多発テロ事件を目の当たりにし、宗教や文化の違いが暴力や対立へとつながる問題に強い関心を抱いたことです。「異なる宗教・文化的背景を持つ人々は、どのような条件のもとならば共存・共生できるのだろうか？」そのヒントを歴史から探ろうと考え、西洋史を学ぶ道に進んだのです。

専門としている近世イングランドの研究では、当初は、17世紀のユダヤ人再入国問題をテーマに取り組みました。中世に各地で国外追放と

なつたユダヤ人たちが、17世紀になって再びイングランドへの入国を訴えます。これに対し、イングランドでは、「キリスト教にとつて裏切り者」と排除を主張する人々と、旧約聖書を掲げて、「古代イスラエルの民をキリスト教に改宗させることが責務」と受け入れを主張するピューリタンが対立。

ここから、ピューリタン革命に至るまでの動きを追い、私の関心は「ユダヤ人を通して、イギリスが自らの社会、国家、法、宗教をどのように考えていたか」へと広がり、研究の軸となりました。

さらに、「宗教的な問題に決定を下すのは国王なのか、教会なのか」といった国家お

## 歴史に学ぶ「共生」のかたち—— 17世紀イングランドから現代日本へ

穴井 佑 准教授 ANAI, Tasuku



よび社会統治における管轄権の問題、例えば、町の教会などにおける牧師の選出といったミクロなポリティクスに研究を進めています。

### 教育実践から 広がる国際共修

本学に着任した当初、留学生の比率が高い演習クラスを担当し、試行錯誤を重ね、多様な背景を持つ学生が集う状況を強みとして生かそうと考えました。まずはアニメなどのサブカルチャーの話題から学生同士の対話を促し、社会や経済に関するテーマに議論を広げていきました。学生たちが自国の事情を紹介し比較・議論を行うようになり、手応えを掴むことができました。

異なる環境で育った他者との対話を通じて、自らの知識

や経験を広い文脈に置き、既存の価値観を再構成することが、学生の成長につながることは実感しています。

日本社会では、外国人労働者や観光客など多様な価値観が交わる場面が増えていきます。こうした状況は、17世紀のイングランドとも重なり、社会を相対化する視点の重要性をあらためて感じています。言語や文化の違いから誤解や根拠のない非難が生じることは、歴史が教えてくれています。対話を重ね、互いを理解しようとする姿勢が求められます。

本学の国際共修は、そうした関係を築くための大きな力になると考えています。多様な人々と協働し、これからの社会を共創していく学生たちを見守りつつ、研究への想いを新たにしています。

### PROFILE

穴井 佑 [経済学部 経済学科 准教授]

- ◎学位：博士(史学)
- ◎最終学歴：明治大学大学院文学研究科
- ◎主な担当科目：社会政策、外国史I・II

大学生の頃は高校教員を志していたが、教員専修免許状の取得に向けて進学した大学院で学ぶなかで現在の研究テーマへの探究心が高まり、研究職の道に進むことを決意。博士課程修了後、神奈川大学国際日本学部非常勤講師などを経て、2022年度より本学に着任。